



WILD BIRD SOCIETY OF JAPAN · SAITAMA

しらばと

2024.7-8

No.465

日本野鳥の会 埼玉

S H I R A K O B A T O



定期航路で海鳥探鳥「八戸～苦小牧航路」編

山本 巧(加須市)

海鳥探鳥の楽しみ方は、大きく分けて海岸からの探鳥と船からの探鳥の2つの方法があります。このうち船からの探鳥は、陸上からではなかなか見られない海洋性の海鳥を観察できますし、特に長距離を移動する船では広範囲にわたって観察することができます。

一概に船で探鳥といっても観光船やクルーズ船などもありますが、今回は定期航路について紹介したいと思います。

定期航路の特徴

定期航路は決まった港の間を安定して定期的に往復するため、航海するルートが固定されています。この当たり前であることが航路探鳥にとって何を意味するかと言いますと、1年を通して固定されたルートを安定的に運航されていることで、陸上の探鳥と同じように季節によって海鳥の変化を楽しむことができるということです。

また、長距離を移動する定期航路もありますので、航路によっては一度の航海で異なる海域の海鳥を観察することもできるのです。

航路によっては海鳥探鳥に向き不向きはありますが、日本には我々のような一般利用者が乗船できるこのような定期航路が数多くあります。

この中から、海鳥探鳥向けに私のおすすめの定期航路をご紹介します。

八戸～苦小牧航路

この航路は、青森県八戸港と北海道苦小牧港を結ぶ航路で、毎日4便で運航されており、所要時間はおよそ8時間になります。



私がこの八戸～苦小牧航路を海鳥探鳥におすすめする理由は3つあります。

- ・所要時間がおよそ8時間であり、乗船している時間が長すぎず短すぎないこと。
- ・1日4便の中から、乗船している時間が通して明るい時間帯になる便を選ぶことで、ほとんどの時間を海鳥探鳥にあてることができる。
- ・これまでの経験から海鳥の良いポイントを感じている下北半島沖を通ること。

反対にお勧めしにくい点としては、埼玉県からですと八戸港まで遠いというところでしょうか。

次に、私が2023年秋と2024年春にこの航路に乗船した時の簡単な観察記録を紹介したいと思います。

●2023年 秋

〈往路 10月21日〉

八戸発 08:45 ▶ 苦小牧着16:00
シルバープリンセス乗船(写真左下)

コアホウドリを皮切りに海鳥が飛び始め、クロトウゾクカモメやトウゾクカモメ、オオミズナギドリは大きな群れで飛び出す。フルマカモメやアカアシミズナギドリなども混じる中、主目的といえるハジロミズナギドリ(写真 次頁左上)は3桁にせまる数だった。

この日は、渡りの時期ということで、ハクチョウ類やガン類の群れが遠くを飛ぶ姿も観察された。

また、船で休むためなのか、カワラヒワ、ヒガラ、シジュウカラ、ウソ、ヒバリなどの小鳥が



船に下りたり、船のまわりを飛んでいたりした。そのためか、ハイタカが船の上を旋回する姿もあった。

〈復路 10月22日〉
苦小牧発09:30 ▶ 八戸着18:00
シルバーエイト乗船

出航直後に5種のカモメ類ではじまり、前日より強い風が吹く中、前日の往路と同じくオオミズナギドリ、フルマカモメ、アカアシミズナギドリに加え、アホウドリ類3種（コアホウドリ、クロアシアホウドリ、アホウドリ）の姿。

ハジロミズナギドリは往路よりも多く、200を超える数だった。波を縫うように飛ぶハイイロウミツバメや少數のウミスズメ類も観察。この日はクロトウゾクカモメの若い個体（写真下）が近くを飛び最後を飾ってくれた。



●2024年 春

〈往路 3月2日〉
八戸発 08:45 ▶ 苦小牧着16:00
シルバープリンセス乗船

出港直後にクロガモやシノリガモ、ウミアイサなどの海ガモ類。ミツユビカモメ（写真下）が多く飛びオオミズナギドリやトウゾクカモメ、コアホウドリも姿を見せた。

その後もウミスズメなどの飛ぶ姿を何度も見られたが、沖までくると風波が強く早々に船内に退散することになった。



〈復路 3月3日〉
苦小牧発 09:30 ▶ 八戸着 18:00
シルバーエイト乗船

悪天候のため消化不良気味な前日の往路だったが、うってかわってこの日は穏やかな海となった。

海ガモ類を観察しながらしばらくすると穏やかな海面に浮いているウミスズメやアビ類の姿。ウトウやハシブトウミガラスも数羽で点々と浮き、ウミガラスも1羽確認した。

ウミスズメの大きな群れにエトロフウミスズメも少數が混じり（写真 下）、コアホウドリや



アホウドリも飛ぶ。ミツユビカモメはこの航路を通して、数十から数百の群れで幾度となく飛び楽しませてくれた。トウゾクカモメ類がミツユビカモメを襲う姿も観察できた。

海上を北へ渡るオオハクチョウの群れが出たところで日も暮れはじめたため終了とした。

最後に

近年この航路において、秋のハジロミズナ

ギドリはとても見やすくなつたと感じています。しかし、その反面、春のエトロフウミスズメがとても観察し難い状況になっているように感じます。海水温上昇の影響など、いくつか想像はできますが、どうなのでしょうか。

定期航路は、1年を通して同じルートを安定して運航しています。私は、海鳥の出現状況の変化を見ていくためにも定期的に乗つていきたいと思います。

2024年春 シギ・チドリ類調査報告

日本野鳥の会埼玉 調査部

日時 2024年4月27日 9:35～11:45

場所 さいたま市 大久保農耕地

天候 曇

前線を伴った低気圧が伊豆諸島付近にあり、朝のうちは小雨が降っていましたが、調査の時は曇となり、予定通りに行えました。また、2019年以来の一般公開や連休初日にもかかわらず、16名もの協力が得られました。ありがとうございました。

3月下旬から4月初めにかけて気温が低かったせいか、まだ半分くらいの田にしか水が入っておらず、例年より遅い準備になっていました。しかし、観察されたシギ・チドリ類は6種27羽で、1987年以降の春ではケリが3回目（2002年と2011年に記録）、タマシギも3回目（1990年と2013年に記録）の記録となりました。

〈調査結果〉

	A区	B区	As区	A'区
ケリ		2		
ムナグロ			10	1
コチドリ		5	1	
タシギ	4	1	1	
チュウシャクシギ	1			
タマシギ			1	
タシギ属不明種	2	1		3
合計	10	20	74	16
			24	
				27

春のカウント結果(大久保農耕地)

年	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
調査日	4/29	4/29	4/29	4/29	4/29	4/29	4/25	4/29	4/29	4/27
天候	晴	晴	晴	快晴	晴		晴	曇	晴	曇
1 ケリ										2
2 ムナグロ				64		19				5 22 11
3 コチドリ	5	6	6	7	4					11 13 7 6
4 セイタカシギ	1									
5 タシギ		9	2	6	1					1 1 1 6
6 チュウシャクシギ	2	4	1							1
7 タカブシギ			1							
8 タマシギ										1
タシギ属不明種	2	1		3						1
合計	10	20	74	16	24					17 36 9 27

※最近の10年間の記録をまとめた表です。それ以前の記録は『しらこばと』2012年6月号(No.338)と2022年7-8月号(No.453)をご覧ください。

※「タシギ属不明種」はタシギ以外のタシギ属のため、種数には入れませんでした。



(文責 石井智)

「埼玉県野鳥チェックリスト2000年版」以降の追加種

榎本秀和(鴻巣市)

「埼玉県野鳥チェックリスト」とは、探鳥会で鳥合わせに使われるアレである。目下の最新版は「2019年版(343種収載)」。20世紀最後の年に作成された「2000年版」に比べて40種も増え、そして、その後も現在に至るまでにさらに7種増えている。この付表は、改めてそれを確認するものである。

付表:埼玉県野鳥チェックリスト2000年版以降の追加種

No.	『しらこばと』			種名	観察年月日・場所
	年	月	号		
304	2000	7	195	メジロガモ	2000.4.30 彩湖(のち1981.11.29の浦和市/志木市の記録が判明)
305	"	9	197	ハシグロクロハラアジサシ	2000.6.25 浦和市
306	2001	2	202	ミヤマガラス	2000.12.5 莲田市/伊奈町
307	"	4	204	カリガネ	2001.2.12 彩湖
308	"	5	205	ユキホオジロ	2001.3.4 本庄市
309	"	5	205	シロエリオオハム	2001.2.25 浦和市
310	2002	1	213	マミジロキビタキ	2001.5.28 さいたま市桜区
311	"	12	224	オオハム	2002.10.2 彩湖
312	2003	1	225	コクガン	2002.11.3 本庄市
313	"	6	230	ワキアカツグミ	2003.3.18 春日部市/宮代町
314	"	9	233	レンカク	2003.7.20 さいたま市見沼区
315	2004	4	240	アビ	2003.11.16 所沢市
316	"	6	242	オオメダイチドリ	2004.4.19 本庄市
317	"	7	243	コグンカンドリ	2004.5.7 所沢市
318	2005	9	257	オウチュウ	2005.6.8 吉見町
319	2006	7	267	アカアシショウゲンボウ	2006.4.27 本庄市
320	2007	6	278	ヨーロッパトウネン	2006.11.26 本庄市
321	2008	1	285	ハジロミズナギドリ	2007.9.7 川口市
322	"	2	286	オオチドリ	2007.10.16 本庄市
323	"	10	294	アメリカムナグロ	1987.4.4 さいたま市桜区の記録の追認
324	2011	6	326	キガシラシトド	2011.4.3 川口市
325	"	6	326	ズグロチャキンチョウ	2010.2.27 三郷市の記録の追認
326	2012	4	336	ホシムクドリ	2011.12.18 鴻巣市
327	2013	4	348	チフチャフ	2011.12.24 吉川市
328	"	6	350	アラナミキンクロ	2013.3.25 本庄市
329	"	12	356	オオムシクイ	『日本鳥類目録改訂第7版』における「種」の独立への対応措置
330	2014	2	358	ヘラサギ	2013.11.18 川越市
331	2015	2	370	シジュウカラガン	2014.1.17 深谷市
332	"	10	378	ニシセグロカモメ	2015.4.2 春日部市
333	"	10	378	カツオドリ	2015.8.5 越生町
334	2016	3	383	カラムクドリ	2015.11.26 戸田市
335	"	11	391	アネハヅル	2016.9.2 さいたま市西区
336	"	11	391	ミナミクイナ	2016.9.4 川越市
337	2017	1	393	キマユホオジロ	2016.10.13 所沢市
338	"	1	393	モリムシクイ	2016.10.30 幸手市
339	"	5	398	アオシギ	2017.2.2 東松山市
340	"	5	398	クロアシアホウドリ	2017.2.2 越谷市
341	"	8	401	シラガホオジロ	2017.2.25 羽生市
342	"	9	402	マダラチュウヒ	2017.5.17 さいたま市西区
343	2018	9	414	カラアカハラ	2018.5.6 秩父地方(市町村名不詳)
344	2019	5	422	カワリシロハラミズナギドリ	2018.10.2 越谷市
345	"	6	423	ムジセッカ	2019.3.6 さいたま市岩槻区
346	2020	5	434	マキノセンニュウ	2019.11.2 さいたま市緑区
347	"	6	435	オオカラモズ	2020.2.5 さいたま市見沼区
348	2022	1-2	450	コオバシギ	2021.8.29 川越市
349	"	3-4	451	ハイイロオウチュウ	2021.10.21 さいたま市見沼区
350	"	11-12	455	ヤイロチョウ	2021.6.8 飯能市

* ■は2000年までの観察記録であることを表す。

* 観察地は、彩湖以外はできるだけ市町名で示した。

* No.312までは2003年版に、No.334までは2016年版に、No.343までは2019年版にそれぞれ追加済。



野鳥情報

さいたま市大宮区 大宮公園

◇11月24日、松林でアカゲラ1。12月13日、ビンズイ10±。エナガ10±とシジュウカラ、メジロ、コゲラの混群。ハクセキレイ、カワラヒワ。舟遊池でカルガモ20+、キンクロハジロ15、カツブリ2、アオサギ1など(大橋純子)。

さいたま市緑区 見沼自然公園

◇11月28日、オカヨシガモ、ヨシガモ、ヒドリガモ、マガモ、カルガモ、ハシビロガモ、オナガガモ、トモエガモ、コガモ、カツブリ、カワウ、アオサギ、ダイサギ、オオバン、カワセミ、シジュウカラ、メジロ、カワラヒワ。12月3日、オシドリ、オカヨシガモ、ヨシガモ、ヒドリガモ、マガモ、カルガモ、ハシビロガモ、オナガガモ、トモエガモ、コガモ、カツブリ、カワウ、アオサギ、オオバン、カワセミ、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、カワラヒワ、シメ(嶋田富夫)。

◇1月8日、オカヨシガモ、ヨシガモ、ヒドリガモ、マガモ、カルガモ、オナガガモ、トモエガモ、コガモ、カツブリ、オオバン、コゲラ、ヤマガラ、シジュウカラ、ハクセキレイ、アトリ、カワラヒワなど(長嶋宏之)。

蓮田市黒浜

◇11月28日、上沼でオオバン、カツブリ、ダイサギ、アオサギ、コガモ40+、トモエガモ♂2(鈴木紀雄)。

蓮田市 西城沼公園とその周辺

◇11月30日、30羽のムクドリが電線に並んだ。ムクドリが群れる時期が来たようだ。他にカツブリ、コサギ、コゲラ、モズ、カケス、シジュウカラ、ウグイス、メジロ、ジョウビタキ、ハクセキレイ、カワラヒワなど。12月15日、ツグミ50±の群れが舞い、ヒヨドリが幾分静かになった。シジュウカラの群れがナンキンハゼの実を啄んでいた。12月18日、シジュウカラとメジロとコゲラの混群にヤマガラが2羽混じっていた。アカゲラの採餌を久しぶりに観察。ここでの観察は2020年4月以来だ。12月28日、東沼のカルガモが32

羽になった。コゲラが柿の実を啄んでいた。

他にコサギ、カケス、オナガ、ウグイス、シロハラ、ジョウビタキ、ハクセキレイ、カワラヒワなど。1月7日、シジュウカラ5が紅梅の蕾を採餌。ノスリ1をカラス50±が追いかけました。ノスリが屋敷林に逃げ込むと、カラスは三々五々別々の方角に散って行った。1月19日、ツグミ20±が1本の木に群っていました。何かに驚いたか、ハシボソガラス17が屋敷林から飛び出した。1月31日、屋敷林をかすめて、タカが南から西へ。オオタカかハイタカと思った。他にカルガモ、コサギ、アカゲラ、カケス、オナガ、シジュウカラ、メジロ、シロハラ、ジョウビタキ、ハクセキレイ、カワラヒワなど。2月8日、屋敷林からハヤブサが飛び出し、一直線に西に飛んだ(長嶋宏之)。

川越市 伊佐沼

◇12月4日、南エリアでヒドリガモ、マガモ、カルガモ、ハシビロガモ、コガモ、ミコアイサ、カツブリ、カワウ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、クロツラヘラサギ2、イカルチドリ、オオハシシギ、アオアシシギ、クサシギ、イソシギ、トビ、ハイタカ、モズ、シジュウカラ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、タヒバリ、カワラヒワ(嶋田富夫)。

◇12月9日、クロツラヘラサギ若鳥2(下写真)、クサシギ1、ハマシギ1、オオハシシギ2、セイタカシギ2(鈴木 功)。



越谷市 越谷レイクタウン(53396655)

◇12月8日、カンムリカツブリ3、ハジロカツブリ1(鈴木 功)。

加須市下高柳(54391429)

◇12月9日、花咲多目的遊水池でマガモ28、カルガモ43、ハシビロガモ6、コガモ39、ミコ

アイサ3、カイツブリ、カンムリカイツブリ、カワウ22、アオサギ、ダイサギ、オオバン、イカルチドリ、インシギ、トビ、モズ、カケス、ハクセキレイ、ホオジロ(鷗田富夫)。

横瀬町芦ヶ久保 埼玉県民の森

◇12月10日、アオゲラ2、ルリビタキ♂1♀型2、アトリ50+、オオマシコ♂3♀1、イスカ♂1♀1、亜種アカウソ♂2♀1(鈴木功)。

◇2月3日、道の切通し斜面のハギの実にオオマシコ成鳥♂4、♀ないし若鳥3。杉の樹冠を動くイスカ10数羽、亜種アカウソ♂2♀3、ミソサザイ1、キバシリ1、アトリ、マヒワ、シジュウカラ、ヤマガラ、ヒガラ、コガラ、コゲラ、など(鈴木紀雄)。

深谷市本田 明戸堰(54391264)

◇12月10日、オカヨシガモ、カルガモ、コガモ、ホオジロガモ、カイツブリ、カワウ、アオサギ、ダイサギ、オオバン、インシギ、トビ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ホオジロ、アオジ。1月14日、コハクチョウ、オカヨシガモ、マガモ、カルガモ、オナガガモ、コガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、ホオジロガモ(下写真)、ミコアイサ、カイツブリ、カワウ、アオサギ、ダイサギ、オオバン、セグロカモメ、トビ、ツグミ、キセキレイ、ハクセキレイ、セグロカモメ、ホオジロ、アオジ(鷗田富夫)。



蓮田市 山ノ神沼

◇12月11日、ヒドリガモ6、マガモ58、カルガモ29、コガモ24、オオバン、モズなど(鷗田富夫)。

久喜市 久喜菖蒲公園 昭和沼

◇12月14日、ヨシガモ、ヒドリガモ、マガモ、カルガモ、オナガガモ、コガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、ミコアイサ、カイツブリ、カンムリカイツブリ、カワウ、ゴイサギ50±、アオサギ、

ダイサギ、コサギ、バン、オオバン、カワセミ、シジュウカラ、ハクセキレイ、セグロセキレイ(鷗田富夫)。

◇1月9日、ヒドリガモ、カルガモ、オナガガモ、キンクロハジロ、ミコアイサ、カンムリカイツブリ、カワウ、ゴイサギ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、オオバン、モズ、シジュウカラ、ウグイス、メジロ、ツグミ、ハクセキレイ、カワラヒワ、アオジなど(長嶋宏之)。

◇2月9日、ミコアイサ♂4、キンクロハジロ♂2♀4、ハシビロガモ♂1、オナガガモ10、ヒドリガモ約50、カルガモ、マガモ、コガモ、オオバン、カンムリカイツブリ、カイツブリ、カワウ(鈴木紀雄)。

さいたま市緑区 緑のトラスト保全第1号地 ～見沼自然公園

◇12月10日、緑のトラスト保全第1号地でメジロ、ウグイス、アオジ、ツグミ、エナガ、アカハラ、ジョウビタキ、セグロセキレイ、シジュウカラ、モズ、カワラヒワ、シメ、コゲラ、ルリビタキなど。野田小学校側の見沼代用水東縁から加田屋川周辺でホオジロ、ノスリのペア、カワセミ、アオサギ、オオタカ、ハクセキレイ。見沼自然公園でヤマガラ、マガモ、カイツブリ、ヒドリガモ、オオバン、アトリ、コガモ、カワウ8、オナガガモ、トモエガモ、キジ、キセキレイ、シロハラ、オカヨシガモ、カシラダカ(村越百合子)。

加須市騎西(54391435)

◇12月15日、ローソン加須騎西店付近でミヤマガラス約300(鷗田富夫)。

加須市栄

◇12月16日、コハクチョウ成鳥3幼鳥2、コクマルガラス暗色型1、ミヤマガラス150+(鈴木功)。

さいたま市大宮区 大宮第二公園

◇12月18日、芝川第七調節池でヒドリガモ30、カワセミ1。隣の芝川でカルガモ、ハシビロガモ、コガモ、オオバンなど(大橋純子)。

さいたま市、川口市 芝川第一調節池と芝川(53396547)

◇12月19日、コジュケイ、オオハクチョウ、オカヨシガモ、マガモ、カルガモ、ハシビロガモ、コガモ、ホシハジロ、ミコアイサ、カワア

イサ、カイツブリ、カンムリカイツブリ、ハジロカイツブリ、カワウ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、オオバン、イソシギ、ユリカモメ、ノスリ、カワセミ、モズ、セグロセキレイ(嶋田富夫)。

◇1月14日、調節池は中央部分を除き氷が張っていた。ミコアイサ、カンムリカイツブリ、コサギ、コガモ、ダイサギ6、ヒドリガモ、カイツブリ、カワセミ、オオタカ、ヨシガモ、ゴイサギ、セグロカモメ、カワアイサ、ウグイス、ジョウビタキ、ユリカモメ、ミサゴ、ベニマシコ、メジロ、エナガ、コゲラ、アトリ、ホオジロ(村越百合子)。

さいたま市岩槻区 新岩槻郵便局付近

◇12月23日、ミヤマガラス約300(嶋田富夫)。

松伏町大川戸

◇12月23日、まつぶし緑の丘公園でマガモ、カルガモ、コガモ、ミコアイサ、カイツブリ、カワウ、アオサギ、オオバン、オオタカ、モズ、ヤマガラ、シジュウカラ、ニシオジロビタキ、ハクセキレイ、カワラヒワ、アオジ(嶋田富夫)。

◇1月9日、まつぶし緑の丘公園の里山ゾーンに、今年もニシオジロビタキ1羽(下写真)が来てくれた。昨年1月8日と2月1日には里山ゾーンの南麓で見られたが、今年は北西側の斜面だった。白くて丸い実をつけたナンキンハゼの木にとまったり、地面に降りたりしていた。水辺ゾーンは、ミコアイサ♀2、マガモ、カルガモ、コガモくらいで、カモ類は例年より少なかった。大落吉利根川ではクサシギ1(高田範之)。



久喜市菖蒲町三箇(54390489)

◇12月26日、ミヤマガラス約300(嶋田富夫)。

さいたま市桜区 秋ヶ瀬公園三ツ池

◇12月28日、ハイタカ1、トラツグミ1(鈴木 功)。

伊奈町 埼玉県立がんセンター周辺

～上尾鷹の台高等学校周辺

◇1月4日、埼玉県立がんセンター周辺でアオサギ、シジュウカラ、メジロ、シメなど。丸山駅～伊奈屋敷裏門跡でホオジロ23、ウグイス、ツグミ。裏門跡～二の丸跡でシロハラ、ジョウビタキ、オナガ、カケス、セグロセキレイ、エナガ。陣屋敷～蔵屋敷跡先でカシラダカ38。調整池周辺でカワセミ、アオジ、モズ、コゲラ、コサギ、キジ♂2♀1、ダイサギ、トウネン、クサシギ、チョウゲンボウ、バン、オオバン、カルガモ、ハクセキレイ、キセキレイ、カイツブリ。オオタカ2、1羽が何かを追いかけた様子を見ているとニホンイタチの姿。捕獲するも落下。再度トライするも失敗(村越百合子)。

伊奈町小室

◇1月4日、日本薬科大学正門前の電線にレンジャクが休憩していた(村越百合子)。

さいたま市岩槻区 岩槻文化公園

◇1月9日、通称小さい池の辺りでキクイタダキ2(下写真)、ルリビタキ♀1。オオタカの声がして、枝の込み入った中にとまっている姿を見つける(藤原寛治)。



◇1月10日、村国池でカワセミ♂1、アカゲラ♂1。釣り堀周辺でヒクaina、シメ(田村豊)。

◇2月8日、ヒドリガモ、カルガモ、コガモ、カワウ、ゴイサギ成鳥1、アオサギ、オオバン、イカルチドリ、コチドリ1、カワセミ、コゲラ、アカゲラ♀、モズ、カケス、オナガ、シジュウカラ、ウグイス、エナガ、メジロ、シロハラ、ツグミ、ジョウビタキ♂、キセキレイ、ハクセキレイ、シメ、アオジ(鈴木紀雄)。

さいたま市緑区三室

さいたま市立浦和博物館周辺

◇1月14日、カワラヒワ、シジュウカラ、モズ、ツグミなど。芝川周辺でカワウ、シメ、ハクセキレイ、アオジ、セグロセキレイ、アオサギ、カルガモ、マガモ(村越百合子)。

上尾市 丸山公園(53397443)

◇1月16日、マガモ、カルガモ、キジバト、カワウ、アオサギ、イソシギ、シジュウカラ、ツグミ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、カワラヒワなど。上空には、ヒメアマツバメ約10(嶋田富夫)。

桶川市川田谷 サクラソウトラスト地周辺

◇1月27日、ヒバリ10、シジュウカラ、シメ、カイツブリ、ツグミ、カケス、キセキレイ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、アトリ、モズ、コゲラ、メジロ、カワラヒワ、アオジ、カワセミ、ホオジロ、カシラダカ、ベニマシコ、ノスリ、ジョウビタキ、アカゲラ、アオサギ、コジュケイ、オオタカ、エナガ、イカルチドリ、ダイサギ。此処から少し離れたホンダエアポートの草地で子猫の鳴き声が聞こえてくる。様子を見ているとタケリを見つけた(村越百合子)。

さいたま市西区 秋葉の森総合公園

◇1月29日、シジュウカラ、カワラヒワ、エナガ、シメ、ツグミ、ウグイス、ジョウビタキ、カケス、ハクセキレイ、セグロセキレイ、アオジ、ハイタカ、カワセミ、コゲラ、ホオジロ、シロハラ、アカゲラ、モズ、アオサギ、アカハラ、メジロ、マガモ、カルガモ、オオタカ、クイナ、ベニマシコ、コジュケイ。ミソサザイの尾が日当たりの具合でオレンジ色に見えた(村越百合子)。

上尾市地頭方～平方領領家

◇1月31日、ハクセキレイ8、セグロセキレイ7、メジロ、シジュウカラ29、カワラヒワ20、モズ6、ツグミ36、ハチジョウツグミ、ヒバリ17、カワセミ、ジョウビタキ♂5♀5、キジ♂3、♀2、オナガ23、カワウ、カルガモ18、タヒバリ、シメ、ホオジロ、カケス4、エナガ23、ウグイス、コゲラ、カシラダカ、キセキレイ、休耕田にコチドリ8、コサギ、ダイサギ(村越百合子)。

羽生市 羽生水郷公園

◇2月1日、カモ達は強風(7~8m/s)を避けて、集まっていた。ヨシガモ、マガモ、カルガモ、コガモ、ミコアイサ。他にカイツブリ、カワ

ウ、アオサギ、ダイサギ、オオバン、トビ、カワセミ、ツグミ、ハクセキレイ、カワラヒワ、ホオジロなど(長嶋宏之)。

北本市 北本自然観察公園

◇2月3日、コガモ、タシギ1、アカゲラ、アオジ、シジュウカラ、ヤマガラ、ジョウビタキ♀2、ルリビタキ♂1、セグロセキレイ2、ツグミ、ウグイス、カシラダカ5、メジロ、コゲラ、モズ、シメなど(鈴木紀雄)。

さいたま市岩槻区平林寺

◇2月4日、オナガ10数羽が木に止まつたり、飛び交つたりしていた(鈴木紀雄)。

越谷市 大相模調節池

◇2月4日、メジロガモ♂第一回冬羽(下写真)1、スズガモ♀1。メジロガモは最初頭部の緑色光沢がありアカハジロとの交雑を疑いましたが、ホシハジロ、キンクロハジロとの大きさの比較、脇の前縁部に食い込んでいない点から判断しました(平田 楽)。



鴻巣市大芦 荒川左岸河川敷(54391305)

◇2月8日、トビ、チュウヒ、ノスリ、チョウケンボウ、ミヤマガラス、ヒバリ、セッカ、ツグミ、ジョウビタキ、カワラヒワ、ホオジロ、アオジなど(嶋田富夫)。

久喜市菖蒲町小林

◇2月9日、木々の枝にとまるニュウナイスズメ約30、スズメ約70、計100羽の群れ(鈴木紀雄)。

表紙の写真

ペリカン目サギ科アマサギ属アマサギ

6月3日さいたま市内で撮影。嘴や足の赤、眼先の赤紫色など婚姻色が見られるが、虹彩はまだ黄色。 徳名貴房(さいたま市)



行事案内

要予約 と記載してあるもの以外、予約申し込みの必要はありません。集合時間に集合場所にお出かけください。初めての方は、青い腕章の担当者に「初めて参加します」と声をおかけください。参加者名簿に氏名・住所・電話番号などを記入、参加費を支払い、鳥のチェックリストを受け取ってください。鳥が見えたらリーダーやベテラン会員たちが望遠鏡で見せてくれます。体調を整えてご参加ください。

参加費：中学生以下無料、会員100円、一般200円。

持ち物：健康保険証、筆記用具、雨具、飲み物。持つていれば、双眼鏡などの観察用具もご用意ください。
なくても大丈夫です。

解散時刻：特に記載のない場合、正午から午後1時ごろ。

悪天候の場合は中止です。できるだけ電車バスなどの公共交通機関を使って、集合場所までお出かけください。間際に時刻表が変更される場合もあります。ご注意ください。

一口メモ：1. **要予約** の探鳥会は特に記載のない限り会員限定で埼玉会員優先の先着順受け付けです。
2. [担当]欄 先頭に記載のリーダーが主担当者です。

まだまだ熱中症が心配な季節です。体調を整え、睡眠を十分にとってご参加ください。探鳥会が始まつたら、水分はこまめに補給しましょう。飲料水は必携です。前号12ページに、「探鳥会における熱中症対策ガイドラインについて」が掲載されていますので、ご一読ください。暑さ指数(WBGT)予測は、環境省の以下のサイトで発表されます。可能な方は、お出かけ前にご確認ください。

https://www.wbgt.env.go.jp/wbgt_data.php

長野県 松本市・乗鞍～上高地探鳥会

期　　日：**7月20日(土)～21日(日) 中止**

諸般の事情により、予定していた日程での開催が難しい見込みとなった為、中止といたします。探鳥会へのご参加を予定していた会員の皆様には大変申し訳ございません。

シギ・チドリ類県内調査

期　　日：**9月7日(土)、予備日8日(日)**

場　　所：大久保農耕地(さいたま市)

集　　合：午前9時30分、荒川総合運動公園
運動場北東側駐輪場わきの広場



2022/09/11大久保農耕地A区

(横堤の下)。

交　　通：浦和駅西口②番バス乗り場から「大久保浄水場」行き8:15発に乗車し終点「大久保浄水場」で下車、徒歩約15分。

解　　散：正午ころ、集合場所で。

担　　当：石井(智)

そ　の　他：調査のため参加費は不要。雨天(小雨でも)中止。予備日も雨天の時は調査中止。

さいたま市・三室地区定例探鳥会

期　　日：**9月15日(日)**

集　　合：午前9時、さいたま市立浦和博物館前。

交　　通：JR北浦和駅東口バスターミナルから東武バス①番乗り場 さいたま市立病院行で終点下車。

後　　援：さいたま市立浦和博物館

担　　当：小林(み)、青木、浅見(健)、浅見(徹)、菅野、小菅、楠見、中橋、富田(英)、富田(由)、畠山、三好

見どころ：まだまだ暑さが続きますが、鳥たちは早くも冬の準備を始めています。高鳴きするモズ、南へ渡る鳥たち。

狭山市・入間川定例探鳥会

期　　日：**9月22日(日・祝)**

集　　合：午前9時、西武新宿線 狹山市駅西口。

交　　通：西武新宿線 本川越8:41発、または所沢8:39発に乗車。

解　　散：正午ころ、稻荷山公園で。

担当 当:長谷部、石光、金井、小林(ま)、佐藤(久)、瀬尾、中村(祐)、山口、山本(真)
見どころ:渡りの季節。鳥たちは案外身近なところを通っていきます。時々会えます。時々。

松伏町・松伏記念公園探鳥会

期 日: 9月22日(日・祝)
集 合: 午前9時30分、松伏記念公園北口駐車場。
交 通: 東武伊勢崎線 北越谷駅東口①番バス乗り場から茨急バス・エローラ行き9:01発で「松伏高校前」下車。または武蔵野線 吉川駅北口③番バス乗り場から茨急バス・エローラ行き8:42発で「松伏高校前」下車。松伏高校の向かい側が集合場所です。
解 散: 正午ごろ、公園内で
共 催: 松伏町中央公民館
担 当: 山部、石川(光)、佐野、橋口
見どころ: 公園では夏鳥と冬鳥の入れ替わりを見つけます。田んぼでは稲刈りで飛び出すバッタ類やカエルを狙うサギたちを期待。

川越市・伊佐沼 ミドル探鳥会

要予約

期 日: 10月5日(土)
集 合: 午前9時30分、伊佐沼冒険の森駐車場。
解 散: 午後3時頃
交 通: 公共交通機関利用の場合、川越駅東口から西武バス[本52]川越グリーンパーク行に乗車。伊佐沼冒険の森で下車。
費 用: 2,000~3,000円の予定。※交流を兼ねて参加者全員で食事会(アルコール不可)を行います。近隣で貸切手配予定。
定 員: 20名。ミドル世代(35~54歳)に限定。先着順、ただし埼玉会員(入会予定者含む)を優先。

申し込み: 当会HPで9月1日から受付開始。

担 当: 瀬尾、廣田、櫻井、ほか(調整中)

見どころ: 渡りの早いカモ類やシギ・チドリに期待。留鳥含めてじっくり観察します。

その他の: 「通常の探鳥会では同世代との交流が少ない」「Young探鳥会に参加するには気が引ける」という声を聞き、世代

限定で企画しました。初心者も大歓迎。小雨決行。

北本市・石戸宿定期探鳥会

期 日: 10月6日(日)
集 合: 午前9時、北本自然観察公園・埼玉県自然学習センター玄関前広場。
交 通: JR高崎線 北本駅西口から、北里大学メデイカルセンター行バスで「自然観察公園前」下車。
担 当: 吉原(俊)、相原(修)、相原(友)、秋葉、浅見(徹)、大畑、近藤、柴田、関口、永野、山本(恵)、吉原(早)
見どころ: 昨年はコガモ、アカゲラ、カケスなど冬鳥の先駆けが来っていました。エクリップスのシマアジも期待できるカモ。



2022/10/02高尾の池にコガモ

さいたま市・民家園周辺定期探鳥会

期 日: 10月6日(日)
集 合: 午前9時、浦和くらしの博物館民家園駐車場、念仏橋バス停前。
交 通: JR浦和駅東口①番バス乗り場から、東川口駅北口行8:37発で「念仏橋」下車。
担 当: 伊藤、菅野、須崎、手塚、中橋、野口、藤田
見どころ: 昨年は、渡って来たばかりのヒドリガモ、ハシビロガモ、コガモなどの他、南に帰るノビタキにも会えました。
ご 注意: コースの途中にトイレはありません。

東京都・東京港野鳥公園(レディース)

期 日: 10月12日(土)
集 合: 午前9時30分、東京港野鳥公園入口。
交 通: JR浜松町乗換、東京モノレール乗車「流通センター」(普通のみ停車)下車、徒歩15分。その他JR大森駅から京急バス「野鳥公園」下車、徒歩5分など。

解 散：午後2時ころ、現地で。
担 当：吉原(早)、中川、菱沼(洋)、藤澤、藤田
見どころ：マガモやホシハジロ等、到着したばかりの冬鳥、シマアジ等旅鳥、帰る途中の夏鳥、通年見られる水辺の鳥や山野の鳥など、様々な鳥が期待できます。
そ の 他：弁当持参。女性限定。
入 園 料：大人300円、65歳以上150円。

熊谷市・大麻生定例探鳥会

期 日：10月13日(日)
集 合：午前9時40分、秩父鉄道 大麻生駅前。
交 通：秩父鉄道 熊谷9:21発、または寄居8:53発に乗車。
解 散：正午ころに野鳥の森池周辺で。
担 当：千島、新井、大畑、関口、高橋、茂木、山本(恵)
見どころ：キビタキ、エゾビタキ、ショウドウツバメ、猛禽を探して野鳥の森まで歩きます。

加須市・渡良瀬遊水地探鳥会

期 日：10月19日(土)
集 合：午前8時45分、中央エントランス駐車場。
交 通：東武線館林行 新越谷7:23→春日部7:38→東武動物公園7:43で南栗橋行に乗り換え→南栗橋7:54着で東武宇都宮行に乗り換え→柳生8:10着。またはJR宇都宮線下り大宮7:27→栗橋7:55着で東武日光線に乗り換え→柳生8:10着。遊水地への標識に従って中央エントランスへ。
解 散：正午ころ、谷中村史跡ゾーンで。
担 当：佐野、浅見(徹)、木村、野口、別井、山本(恵)、山本(巧)
見どころ：谷中湖とヨシ原で帰ってきたばかりの冬鳥たちを探します。渡りのカッコ類にも期待。

羽交流会(埼玉ヤング室内交流会)

期 日：10月19日(土)または20日(日)
場 所：埼玉県自然学習センター(北本市)
※詳細は9月前半にHP・SNSにてお知らせします。
※会場の都合で、前週または次週に変更となる場合もございますのでご了承ください。

さいたま市・三室地区定例探鳥会

期 日：10月20日(日)
集 合：午前9時、さいたま市立浦和博物館前。
交 通：JR北浦和駅東口バスターミナルから東武バス①番乗り場 さいたま市立病院前行で終点下車。
後 援：さいたま市立浦和博物館
担 当：須崎、青木、浅見(健)、浅見(徹)、菅野、小菅、小林(み)、楠見、富田(英)、富田(由)、中橋、畠山、三好
見どころ：10月の主役候補はノビタキです。河川工事が進み観察場所は限られてきましたが、その姿を求めて芝川沿いを歩きます。

長野県・戸隠高原探鳥会

要予約

期 日：10月26日(土)～27日(日)
集 合：26日午前9時、長野駅コンコース、新幹線改札口を出て右側。
交 通：新幹線「あさま601号」(東京6:52→大宮7:17→熊谷7:29→高崎7:44→長野8:35着)、または「かがやき503号」(東京7:20→大宮7:43→長野8:37着)など。
解 散：27日16時頃、長野駅前。「あさま626号」(16:25発)に乗車できるように調整。
費 用：19,500円の予定(1泊3食、現地バス代、旅行傷害保険料等)。万一過不足は当日清算。集合地までの往復交通費は各自負担。
定 員：16名。
申し込み：当会HPで9月1日から受付開始。
担 当：菱沼(一)、浅見(徹)、佐野、菱沼(洋)
見どころ：マミチャジナイ、ムギマキなどの旅鳥と冬鳥たち、秋の紅葉の旅です。夜は初蕎麦と地酒を堪能します。
そ の 他：宿泊は男女別(夫婦は同室)。

宮城県・伊豆沼、蕪栗沼探鳥会

要予約

期 日：11月23日(土・祝)～24日(日)
担 当：入山、櫻井、佐野、瀬尾、廣田
定 員：27名
申し込み：当会HPで10月1日から受付開始。
※日程・参加費等は、只今検討中。今回はどこに行こうかな?
詳細は次号9・10月号で。



行事報告

12月10日(日) 所沢市 狹山湖 Young

参加:39(会員23)名 天気:晴

オカヨシガモ、ヨシガモ、マガモ、カルガモ、トモエガモ、コガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、ミコアイサ、カイツブリ、カンムリカイツブリ、ハジロカイツブリ、キジバト、カワウ、オオバン、ミサゴ、トビ、ノスリ、コゲラ、アカゲラ、ハヤブサ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヤマガラ、シジュウカラ、ヒバリ、ヒヨドリ、ウグイス、メジロ、ムクドリ、シロハラ、ツグミ、ルリビタキ、ジョウビタキ、スズメ、ハクセキレイ、カワラヒワ、シメ(42種)

スタートしてからは林や森の中を歩く。モズ、カラ類、ツグミ類などを見ることができた。狭山湖手前の広場では、ジョウビタキ、ホオジロ、アオジなど小鳥たちが見られ、狭山湖には遙か遠くにカンムリカイツブリの群れ。ハジロカイツブリ、ヨシガモ、オカヨシガモ、ホシハジロ、ゴール地点近くではトモエガモ、ミコアイサも見ることができた。 (廣田純平)

12月13日(水) 加須市 渡良瀬遊水地

参加:27(会員24)名 天気:晴

マガン、ヨシガモ、ヒドリガモ、マガモ、カルガモ、オナガガモ、コガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、ホオジロガモ、ミコアイサ、カワアイサ、カイツブリ、カンムリカイツブリ、ハジロカイツブリ、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、オオバン、ユリカモメ、セグロカモメ、ミサゴ、トビ、チュウヒ、ハイタカ、ノスリ、コゲラ、アカゲラ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、メジロ、ムクドリ、シロハラ、ツグミ、ジョウビタキ、スズメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、タヒバリ、カワラヒワ、ベニマシコ、シメ、ホオジロ、アオジ(50種)(番外:ドバト、コウノトリ)12月とは思えない温かさの中を出発すると、谷中湖ではミコアイサがだいぶ増えていた。カワアイサも今季初確認。コウノトリやミサゴが上空を飛び、後半はベニマシコがよく姿を見せてくれた。それでも一番盛り上

がったのは、前回同様に探鳥コースに出てきた3頭のイノシシだろうか。(佐野和宏)

12月14日(木) 加須市 加須はなさき公園

参加:12(会員10)名 天気:晴

ヒドリガモ、マガモ、カルガモ、コガモ、カイツブリ、キジバト、カワウ、ゴイサギ、アオサギ、コサギ、オオバン、オオタカ、カワセミ、コゲラ、ハヤブサ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヤマガラ、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、エナガ、メジロ、ムクドリ、ツグミ、ジョウビタキ、スズメ、ハクセキレイ、カワラヒワ、シメ(31種)(番外:ドバト) 青毛堀川へ向かいカルガモ、オオバン、コガモ、モズ、ジョウビタキを見た。鉄塔上に久々のハヤブサ。公園内に戻ると、シジュウカラ、エナガ、コゲラと1羽のヤマガラが目の前を元気に飛び交っていた。ツグミ、シメなども予定通りに出た。

(茂木幸蔵)

12月16日(土)
さいたま市 秋葉の森総合公園

参加:34(会員31)名 天気:晴

キジ、カルガモ、キジバト、クイナ、ハイタカ、カワセミ、コゲラ、アカゲラ、モズ、カケス、ハシボソガラス、ハシブトガラス、キクイタダキ、ヤマガラ、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、エナガ、メジロ、ムクドリ、シロハラ、ツグミ、ジョウビタキ、スズメ、ハクセキレイ、カワラヒワ、ベニマシコ、シメ、アオジ(29種) サッカー大会が行われていたので、ピクニック広場をコースから外し、自然保護ゾーンでじっくり観察。冬鳥が少なく感じたが、キクイタダキをしっかり観察できて、皆さんニッコニコ。

(瀬尾桂一)

12月17日(日)
滑川町 武藏丘陵森林公園

参加:37(会員31)名 天気:快晴

オシドリ、ヒドリガモ、マガモ、カルガモ、オナガガモ、コガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、カイツブリ、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、オオバン、トビ、ハイタカ、ノスリ、コゲラ、チョウゲンボウ、サンショウウクイ(亜種リュウキュウサンショウウクイ)、モズ、ハシブトガラス、ヤマガラ、ヒガラ、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、エナガ、メジロ、ツグミ、ルリビタキ、ジョウビタキ、キセキ

レイ、ハクセキレイ、ピンズイ、シメ、ホオジロ、アオジ(38種)(番外:ガビチョウ) カモの飛来が少なく小鳥の群れに期待しながら開始。西田沼で思いがけずオシドリと遭遇。その後、針葉樹林帯で何度か小鳥の混群に出会う。強い風の中、上空を飛翔する猛禽も現れ、必ずしも良い気象条件とは言えない中、多くの鳥を観察できた。

(鈴木秀治)

12月17日(日) さいたま市 三室地区

参加:34(会員25)名 天気:晴

キジ、カルガモ、カツブリ、キジバト、カワウ、ゴイサギ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、オオバン、カワセミ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヒバリ、ヒヨドリ、ウゲイス、メジロ、ツグミ、スズメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、カワラヒワ、シメ、ホオジロ(25種)(番外:ドバト) 生憎の暴風。そんな中でもツグミやシメなどの冬鳥はしっかりと見ることができた。三室定番のカワセミもしっかり出現。なんとか無事終了することできた。

(青木正俊)

12月23日(土) さいたま市 岩槻文化公園

参加:48(会員45)名 天気:晴

ヒドリガモ、カルガモ、カツブリ、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、オオバン、イカルチドリ、タシギ、イソシギ、セグロカモメ、トビ、カワセミ、コゲラ、モズ、カケス、ハシボソガラス、ハシブトガラス、キクイタダキ、ヤマガラ、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウゲイス、エナガ、メジロ、シロハラ、ツグミ、ジョウビタキ、スズメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、カワラヒワ、シメ、ホオジロ、カシラダカ、アオジ(37種)(番外:ドバト) 出発して間もなく水場でキクイタダキを数名が確認、村国池ではカワセミやジョウビタキが見られた。元荒川では順光で羽の模様が綺麗なタシギ、川の中央で佇むセグロカモメなどの姿を楽しんだ。ツグミも何回も見られ、年末の忙しさを忘れられた。

(長野誠治)

12月24日(日) 幸手市 宇和田公園

参加:25(会員23)名 天気:晴

マガモ、カルガモ、オナガガモ、コガモ、カツブリ、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、オオバン、イカルチドリ、イソシギ、ミサゴ、トビ、ハ

イタカ、ノスリ、カワセミ、アカゲラ、ハヤブサ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウゲイス、メジロ、ムクドリ、シロハラ、ツグミ、ジョウビタキ、スズメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、タヒバリ、カワラヒワ、ベニマシコ、シメ、ホオジロ、カシラダカ、アオジ(40種)(番外:ドバト) 冷え込む中でのスタートとなつたが、早速カワセミ、ハヤブサ、ミサゴなどお目当の鳥が出てくれた。公園ではシメやメジロ、そして久しぶりにシロハラが見られた。中川沿いの木々にはツグミやホオジロ、カシラダカなどに加えてノスリも。声だけであったがベニマシコもいた。川にはカルガモ、マガモが多く、浅瀬にはイカルチドリ。最後はハイタカが締めくくってくれた。

(佐野和宏)

1月6日(土)

千葉県 ふなばし三番瀬海浜公園

参加:45(会員45)名 天気:快晴

オカヨシガモ、ヒドリガモ、マガモ、オナガガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、スズガモ、ビロードキンクロ、ホオジロガモ、ウミアイサ、カンムリカツブリ、ハジロカツブリ、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、オオバン、ダイゼン、シロチドリ、ミヤコドリ、ミュビシギ、ハマシギ、ユリカモメ、ズグロカモメ、ウミネコ、セグロカモメ、ニシセグロカモメ、ミサゴ、トビ、コミミズク、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウゲイス、メジロ、ムクドリ、ツグミ、ジョウビタキ、イソヒヨドリ、スズメ、ハクセキレイ、アオジ、オオジュリン(43種)(番外:ドバト) 干渉が小さくなりつつだったので、早速干渉へ。ミヤコドリ、シロチドリ、ハマシギ、ミュビシギが近距離で観察できた。ミサゴと思ったら洋上を飛ぶコミミズク。堤防からはスズガモの中にビロードキンクロ。最後にズグロカモメも飛んできて、埼玉では観察できない4種と出会えた。

(菱沼一充)

1月7日(日) 松伏町 まつぶし緑の丘公園

参加:37(会員35)名 天気:晴

マガモ、カルガモ、コガモ、ミコアイサ、カツブリ、キジバト、カワウ、ゴイサギ、アオサギ、ダイサギ、クイナ、バン、オオバン、トビ、オオタカ、カワセミ、コゲラ、アカゲラ、チョウゲンボウ、モズ、オナガ、ミヤマガラス、ハシボソガラス、ハシ

ブトガラス、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、エナガ、メジロ、ムクドリ、シロハラ、ツグミ、ジョウビタキ、スズメ、ハクセキレイ、カワラヒワ、シメ、ホオジロ、アオジ(39種)(番外:ドバト) 水辺ゾーンでは期待していたミコアイサ♂は姿を見せなかつたが、クイナやゴイサギ、バンなどが見られた。オオタカは成鳥と若鳥の2個体を確認。一旦公園を出て田んぼへ出るとシロハラの声。気づくと北東の田んぼの上空を数百のミヤマガラスが飛んでいた。公園に戻り里山に登ると筑波山から富士山まで、山々がよく見えた。

(佐野和宏)

1月8日(月、祝) 深谷市 仙元山公園

参加:17(会員16)名 天気:晴

マガモ、カルガモ、コガモ、キジバト、アオサギ、コサギ、インシギ、トビ、ノスリ、カワセミ、コゲラ、アカゲラ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、キクイタダキ、ヤマガラ、シジュウカラ、ヒヨドリ、エナガ、メジロ、ムクドリ、トラツグミ、シロハラ、ツグミ、ルリビタキ、ジョウビタキ、スズメ、ハクセキレイ、カワラヒワ(29種)(番外:ドバト) 4年振りの仙元山探鳥会。寒気、強風の予報のせいか思いのほか参加者が少ない。唐沢川ではインシギが出迎えてくれたが、カワセミは声だけ。仙元山に入ってもなかなか目ぼしい鳥が現れない。神社の裏手でアカゲラ、ジョウビタキが出てくれて、まずホッとする。その後尾根道ではルリビタキが大サービス、竹林では予想外のトラツグミ、おまけにキクイタダキを全員で観察。種数は少なかつたが満足。

(新井 嶽)

1月13日(土) 群馬県 渡良瀬遊水地 Young

天候悪化のため途中で打ち切り。(廣田純平)

1月13日(土) 春日部市 内牧公園

参加:27(会員26)名 天気:晴

コジュケイ、キジ、キジバト、アオサギ、タシギ、ハイタカ、オオタカ、カワセミ、コゲラ、アカゲラ、サンショウウクイ(亜種リュウキュウサンショウウクイ)、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、エナガ、メジロ、ムクドリ、シロハラ、ツグミ、スズメ、キセキレイ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、カワラヒワ、シメ、イカル、ホオジロ、カシラダカ、アオジ(38種) 前半では群れな

すツグミ、高木に静止のオオタカ、大空に舞うハイタカ、水路でひつそり採食のタシギとキセキレイ。後半は常緑樹で鳴ぐリュウキュウサンショウウクイ、見上げてやつのエナガなど久々の30種。

(石川敏男)

1月13日(土) さいたま市 さぎ山記念公園

参加:29(会員20)名 天気:晴

コジュケイ、オンドリ、オカヨシガモ、ヨシガモ、ヒドリガモ、カルガモ、オナガガモ、トモエガモ、コガモ、カツブリ、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、バン、オオバン、タシギ、ハイタカ、カワセミ、コゲラ、モズ、カケス、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヤマガラ、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、エナガ、メジロ、ムクドリ、シロハラ、ツグミ、ジョウビタキ、スズメ、ハクセキレイ、アトリ、カワラヒワ、シメ、ホオジロ、アオジ(41種)(番外:ドバト) 一般参加者9名とフレッシュな顔ぶれ。スタート直後にシジュウカラ、ヤマガラ、メジロ、エナガ、ヤマガラ、コゲラの混群に遭遇、さらにシメ、ヒヨドリ、ツグミとにぎやか。そこへジョウビタキのオスが登場してさらに盛り上がった。近くの畠の上空ではハイタカが舞い参加者を楽しませてくれた。見沼自然公園にはカモ類が8種類。カワセミ、タシギも飛んできた。(大井智弘)

1月14日(日) 熊谷市 大麻生

参加:32(会員32)名 天気:快晴

カツブリ、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、オオバン、イカルチドリ、トビ、ハイタカ、オオタカ、ノスリ、コゲラ、アカゲラ、ハヤブサ、モズ、カケス、ミヤマガラス、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、エナガ、メジロ、トラツグミ、シロハラ、ツグミ、ジョウビタキ、スズメ、キセキレイ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、カワラヒワ、シメ、イカル、ホオジロ、カシラダカ、アオジ(38種) 土手に上がると鉄塔に止まるハヤブサが見られ、ハイタカも飛んだ。ツグミ、イカル、ジョウビタキ♂♀、エナガなどが木に。土手下の道路でホオジロ、アオジ、シメが採餌。河原ではカシラダカの群れ。ノスリ、オオタカ幼鳥、ダイサギ、アオサギ、オオバン、イカルチドリがいた。ゴルフ場裏で一部の人がトラツグミを、野鳥の森ではアカゲラを見られた。

(千島康幸)



連絡帳

普及部会を開催

本年5月25日(土)16:00~17:50、当会が事務所として使用しているプリムローズ岸町108号室にて、普及部会を開催。出席者8名。

- 1、9-10月探鳥会計画(案)について。
- 2、一般参加費の議論を受けた今後の対応について。
- 3、リーダー研修会について。
- 4、次回普及部会は、7月20日(土)16:00から同所にて。

メール交換による役員会を開催

1、5月26日(日)19:25、長野誠治普及部長から、普及部会の討議に基づき令和6年9-10月探鳥会計画(案)を上程するとのメールが役員会マーリングリスト(以下「ML」)に届き、事務局は、「5月27-29日役員会を開催し、29日(水)午後2時までに当会MLに意見、異議等が届かない場合、議案は承認されたものとします。」とのメールを当会MLに送付しました。その期限までに意見、異議等が届かなかったので、令和6年9-10月探鳥会計画(案)は承認されました。

2、5月28日(火)20:48、青木正俊幹事から、「各支部持ち回りの関東ブロック協議会、今年度は当県担当であることから、「開催日:2025年1月19日、開催時間:13:30~17:30 18:00~懇親会、開催場所:オンライン(zoom)で開催することの承認を求める。」とのメールが届き、事務局は所定の手続きを取りました。この議案に対し、期限で

ある5月31日(金)までに意見、異議等は届かなかったので、5月29-31日役員会議案として、承認されました。

事務局要員について

事務局に青木幹事の他に佐野幹事にも加わっていただくことになり、海老原事務局長を含め3人体制で行うことになりました。

総会について

前号で「7月開催を目指し準備中」としましたが、諸事情により開催が遅れます。次号で日時をお知らせいたします。

会員数は

2024年6月3日現在

おおぞら会員	574人
赤い鳥会員	464人
生涯会員	17人
個人特別会員	71人
家族会員	338人

前回4月1日現在から6人減、合計1,464人です。

編集後記

バードウォッチャーたちは、一年中なんのかと楽しんでいるが、今の季節の楽しみの一つは、サギたちの婚姻色。

濃すぎるかなと見えるような婚姻色にも、思わず嬉しくなってしまう。普段地味好きな私は、どこに行ってしまうのだろう。(海)

しらこばと 2024年7・8月合併号(第465号)

発行人 日本野鳥の会埼玉代表 山部直喜 (〒330-0064 さいたま市浦和区岸町4丁目26番8号
プリムローズ岸町107号) TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460

郵便振替 00190-3-121130 URL <https://www.wbsj-saitama.org> 事務局 office@wbsj-saitama.org
編集部への原稿 yamabezuku@wbsj-saitama.org 編集部への野鳥情報 toridayori@wbsj-saitama.org

住所変更などの連絡は gyomu@wbsj.org またはTEL03-5436-2630 FAX03-5436-2635
〒141-0031 品川区西五反田3丁目9番23号 丸和ビル (公財)日本野鳥の会会員室へ

本誌掲載記事はホームページに転載される事があります。本誌またはホームページからの無断転載は、かたくお断りします。